

管更新工事の基本計画に着手します。  
また、耐震性のある水道管への更新を引き続き行い、配水ブロック中央監視システムを活用した漏水箇所の早期発見と早期修繕による有収率の向上を図り、安全・安心な水道水の安定供給に努めます。

**下水道**については、「うるま市汚水処理施設整備構想」に基づいた基本計画の見直しを行い、効率的かつ持続的な汚水処理施設の整備と老朽化対策を推進するとともに、農業集落排水及び浄化槽の汚水処理業務を一元化し、効率的な運営に取り組みます。

また、経営基盤の強化を図るため、引き続き地方公営企業法の適用に向けた取り組みを推進します。

**国・県の建設事業**については、(仮称)県道勝連半島南岸部道路の事業化に向け積極的に協力し、整備促進を図ります。

**⑤「郷土に誇りをもち未来を拓く人づくり」**

**生涯学習**については、4月1日には一括交付金を活用した、市民待望の生涯学習・文化振興センター「ゆらてく」がオープンすることから、本市の生涯学習と文化芸能の継承発展につながるよう努めます。



【うるま市生涯学習・文化振興センターゆらてく】

また、**文化の振興**については、「冲展選抜展」・「生涯学習フェスティバル」や、市民芸術劇場と連携した「総合文化祭」を開催し、広域的な文化活動の拠点として活用していきます。

さらに、市民芸術劇場、石川会館、きむたかホールの特長を活かした自主企画事業の充実や舞台芸術活動の振興に努めます。

**教育**に関する新たな取組として、学校と保護者、地域住民が一体となって学校運営にあたる「市民協働学校(コミュニティースクール)」を導入します。

今年度はモデル校として、与勝第二中学校、平敷屋小学校、具志川小学校、高江洲小学校、城前小学校で、先行して取り組んでいきます。

**幼児教育**については、幼稚園における複数年保育の実施を推進します。  
総合教育会議において、保育園・幼稚園・小学校が連携することを確認しており、安心して子育てができる環境づくりに取り組めます。

**学校教育**については、電子黒板を効果的に活用したICT教育を取り入れることで、児童生徒の授業に対する興味や集中力の向上が図られ、学力も年々向上しております。



【電子黒板を活用したICT教育】

さらに、児童生徒の「確かな学力」向上を図るために、引き続き、各学校に学力向上支援員やICT支援員等を配置します。

**特別支援教育**については、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、特別支援ヘルパーの配置など、必要な支援に努めます。

**いじめの防止等**については、「うるま市いじめ防止基本方針」に基づき、学校、家庭、地域関係機関と連携を図り、いじめの防止等の対策に努めます。

**教職員の研修**については、教育研究と学校訪問を核とした各種研修の充実、視察研修に派遣するなど、資質・能力や授業力の向上を図ります。

また、適応指導教室や各地区相談室の運営の充実に努め、教育上の悩みを抱える幼児・児童生徒・保護者・教師の相談に応じ、課題解決に向け学校・家庭と連携した支援を行います。

**青少年の健全育成**については、青少年の非行に繋がる深夜はいかいを防止するため、家庭・学校・地域・関係機関と連携を図り、街頭指導を継続して実施してまいります。

また、学校等へ相談員を配置し、児童・生徒の支援活動の充実に努めてまいります。

**文化財**については、民俗文化財などの伝統芸能の保存・継承に努め、埋蔵文化財の保護及び発掘調査を継続し、地域資源としての活用を推進します。